

市内事業者も、SDGs を事業運営に取り入れています！

長野県は2019年4月に「長野県SDGs推進企業登録制度」を開設し、県内事業者のSDGs推進を図っています。現在までに1,329事業者が登録され、小諸市内でも23事業者が登録し、SDGsを意識した事業を展開しています！



U-NO 環境経営事務所

SDGsの目標達成年2030年に向け、CO2排出量の削減に取り組んでいます。
具体的には、小規模事業者への「エコアクション21」(環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム)の認証・取得へ向け、事業者が環境に配慮した取り組みを効果的、効率的、継続的に進めるよう相談、審査をしています(19年に20事業者、20年に45事業者)。2030年までに200事業者への推進を目標とし、ゴール7・13を重点に置き、取り組みを展開しています。



登録日	登録番号	企業・団体名	業種区別
2019/10/31	135	ルミーズ株式会社(本町)	情報通信業
2020/1/31	176	U-NO 環境経営事務所(六供)	サービス業(他に分類されないもの)
	210	千曲運輸株式会社(柏木下)	運輸業、郵便業
	217	株式会社こうりょう(耳取)	建設業
2020/4/30	308	種兵(古城)	製造業(食品)
	314	ヤマト化工株式会社(与良町)	製造業(非食品)
	335	株式会社大栄製作所(石峠)	製造業(非食品)
2020/7/31	436	株式会社佐藤デザインルーム(相生町)	サービス業(他に分類されないもの)
	472	堀越建設株式会社(御影)	建設業
2020/10/30	513	有限会社勉強堂薬品(相生町)	卸売業・小売業
	514	Toe's company(和田)	農業
	530	博友興業株式会社(六供)	建設業
2021/1/29	581	竹花工業株式会社(南町)	建設業
	595	日本電設サービス株式会社(天池)	建設業
2021/4/30	683	浅間技研工業株式会社(耳取)	製造業(非食品)
	795	浅麓工業企業組合(東小諸)	サービス業(他に分類されないもの)
2021/7/30	878	谷建設株式会社(諸)	建設業
2021/10/29	991	株式会社コウワ(西原)	製造業(非食品)
2022/1/31	1157	株式会社ソラマダ(乗瀬)	農業
	1180	有限会社まるひろ(芝生田)	運輸業、郵便業
	1228	株式会社コミヤマ(市)	製造業(非食品)
	1235	株式会社ソラマダ(乗瀬)	林業

※2022/2/14 現在

小諸青年会議所

認承55周年記念事業とし、2019年に「こもろふれ愛フェスティバルー夢絆愛ー」を、南城公園で開催。メインイベントでは、令和を記念して、市の木である梅をモチーフに、子ども達の手形で梅花を作成し、その作品は市内小中学校に寄贈されています。21年にも同イベントを企画し、小諸商業高等学校美術部が、スポンジボールを投げて「コモロスミレ」を描きました。(市役所にて掲示中)



(一社)小諸青年会議所

コロナ禍においても、子ども達を元気づけるイベントを企画し、ゴール4・8・11・17を考える機会をつくっています。青年会議所会員にも、「長野県SDGs推進企業登録制度」への参加が広がっています。



皆さんと一緒に学んできた「みんなの目標SDGs」も、今回で最終回。「自分には関係ない」と思われがちですが、みんなにとって身近で大切なことです。できることから、取り組んでいきましょう！
本シリーズは終了しますが、SDGsクラブのメンバーには、活動を通じてどこかで出会えるかも！

企画課 行政経営係

第18回 みんなの力を合わせよう みんなの目標 SDGs

SDGs 世界をよりよく変えるための「持続可能な開発目標」。
国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す目標です。
「世界を変える!？」なんて、自分には関係ないと感じるかもしれませんが、
でも、あなたのほんの少しの意識と工夫で暮らしや働き方が変わり、
一人ひとりの行動が、世界を変える第一歩になるのです。
SDGsは政府が推進し、いま、自治体・企業・地域へと広がっています。

17 パートナシップで目標を達成しよう

みんなの目標：その17
「パートナシップで目標を達成しよう」
.....
持続可能な開発に向けて
グローバル・パートナーシップを活性化する

*グローバル：世界的な規模 *パートナーシップ：協力関係

一人では実現できないことも、みんなで協力して取り組みれば達成できることがあります。この目標17は、これまで毎月紹介してきたSDGsに掲げられた目標1から目標16を達成するための、最も重要なゴールです。

SDGsの達成のためには、世界中の国・政府、国民、技術者、企業、地域等全ての人が結束して取り組む必要があります。みんなが協力し、行動を起こすことこそがそれぞれの課題の解決につながり、住み続けられる暮らし、生き続けられる地球につながります。

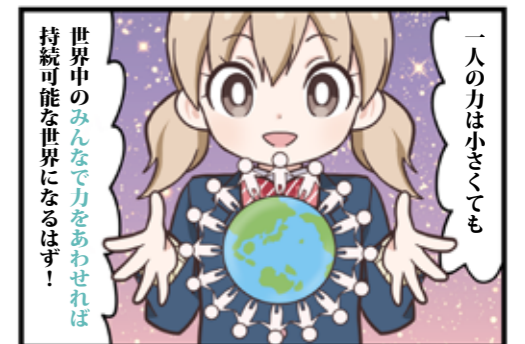
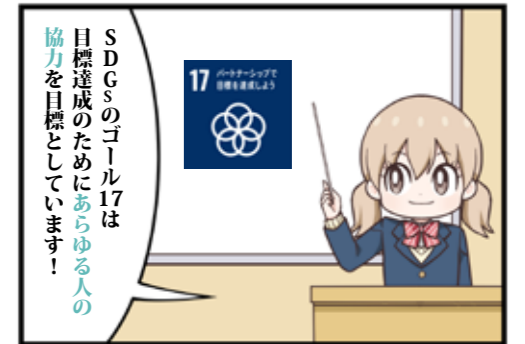
今、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、世界中が協力し、目に見えないウイルスと戦っています。例えば、ひとり一人の行う感染対策、病気と戦う医療従事者や医療機関を支える様々な分野の事業者、医療機器や薬を開発する科学者、感染拡大に関する方針を決める国と早急な対策を講じる自治体、食生活を維持するための農業・酪農・漁業や暮らしを守る様々な事業者や人々等、私たちはすべての人々と関わり、助け合って暮らしているのです。

小諸市も「住みたい、行きたい、帰ってきたい」持続可能な地域の実現のため市民、企業や学校等と連携した取り組みを展開しています。

参考：国際連合広報センター HP

【小諸市ができること】(第11次基本計画より、一部を紹介)

- ◆「参加と協働」、「各主体のパートナーシップ」の重要性を啓発し、各個人、団体等の自発的で主体的な活動を活発にするとともに、協働のパートナーとしての行政の役割(環境整備、情報提供、活動支援など)を積極的に果たしていきます。(企画課)
- ◆市民に情報を提供し、財政状況への理解を得ながら行財政改革を推進し、将来にわたり持続可能な財政運営を目指します。(財政課)



イラスト・九間ハート